

<第4243回>

目的地：明智越（京都西山）

担当者：光崎

実施日：2022年4月30日（土）

形式：日帰りハイキング

費用：¥2,160（JR大阪駅起点）

参加者：19名

天気：晴

行程：

JR 亀岡駅(9:38)→(10:10)簾戸口 (10:15)→(11:00)休憩(11:05)→峯の堂跡地(11:11)→鐘撞堂跡地(11:15)→土用の霊泉(11:34)→(11:50)第2鉄塔(昼食)(12:25)→P400(12:28)→(13:15)保津峡・水尾分岐手前(13:20)→(13:55)JR保津峡駅（解散）

感想：

前日の大雨が嘘のような快晴の中、保津川を渡り集落を抜けて、明智越登山口の「簾戸口」までは道標等も整備されており、迷うことはありません。途中で集落の人から前日にクマが目撃されたとの情報に接しましたが、いつもながらの会員同士のおしゃべりと、熊鈴持参の方もおられたので、クマも寄り付かないだろうと大した心配はしませんでした。

「簾戸口」から最初のうちはやや急な登りが続きますが、清和天皇が隠遁生活を送り、崩御された場所と伝わる「峯の堂」跡地を過ぎると、尾根歩きとなりやや平坦な道が続きます。途中、「鐘撞堂跡」や左に牛松山を見たり、明智光秀が愛宕山に参詣する際に馬に水を飲ませたと伝わる「土用の霊泉」（今は涸れている）を経て、木々の間から京都方面を遠望したりしながら第1鉄塔を過ぎ、第2鉄塔の下で昼食としました。

第2鉄塔の先に神明峠と保津峡への分岐があり、保津峡方面を少し進むと「P400」と表示のある小さな木札が架っている木立に囲まれた少し平坦な場所があります。暑い時期には、この場所での昼食が良いと思われます。そこからの下りは、所々段差が高く、傾斜の急なガレ場の滑りやすく歩きにくい道がしばらく続きます。溪流を渡り林道を右折、川沿いに歩くこと約30分でJR保津峡駅に到着、解散しました。

特記：

近年、北摂の山間部でクマの目撃情報があるので、近郊登山でも熊鈴は携帯しておいたほうが良いかもしれません。